

看護・介護の専門用語辞書の活用事例(1/2)

- 看護・介護の専門用語辞書（約3万5千語）を標準搭載しました。
- 専門用語辞書はデータ編集用の抽出辞書として利用できます。

WordMinerにより、自由に記述された文章やテキストデータの分析が、キーワードの頻度だけでは見えなかった特徴や傾向をつかむことができ、短期間で、客観的に解析ができるようになりました。
さらに、専門用語辞書を利用して、データの専門性の評価をはじめ、専門分野での解析ができます。

「医薬品ネット販売」パブコメ*1の分析例

違いが
よくわかる

専門性を
みる

賛成・反対の高頻度キーワード

全体として、インターネット販売と対面販売、利便性と安全性、説明や情報の必要性に関わる意見が多いことがわかるが、賛成と反対の意見の違いが見えない。

賛成意見			反対意見		
順位	キーワード	頻度	順位	キーワード	頻度
1	販売	137	1	販売	120
2	購入	105	2	医薬品	103
3	規制	103	3	インターネット	72
4	医薬品	97	4	対面	69
5	インターネット	85	5	薬	57
6	薬	84	6	対面販売	56
7	薬局	82	7	副作用	56
8	ネット	69	8	安全性	46
9	対面	63	9	購入	45
10	薬剤師	57	10	薬剤師	42
11	説明	47	11	インターネット販売	41
12	対面販売	47	12	ネット	35
13	人	45	13	利便性	35
14	問題	43	14	規制	34
15	安全	40	15	安全	34
16	理由	38	16	情報	34
17	情報	37	17	電話	34
18	店舗	33	18	使用	34
19	責任	32	19	テレビ	34
20	電話	32	20	人	33

賛成・反対キーワードの有意性テスト

賛成意見は、利便性(従来の不便さ)に関わる意見が多く、反対意見は、副作用や薬物乱用など、安全性や危険性、被害やリスクを懸念する意見がみられる。
※頻度だけでは見えなかった意見の違いが明らかになる。

賛成意見				反対意見			
順位	キーワード	分類頻度	全体頻度	順位	キーワード	分類頻度	全体頻度
1	規制	103	137	1	副作用	56	79
2	手段	22	23	2	反対	20	24
3	薬局	82	110	3	テレビ	34	49
4	大変	15	15	4	リスク	26	35
5	通信	30	36	5	被害	23	30
6	購入	105	150	6	薬物	18	22
7	仕事	18	20	7	安全性	46	73
8	メリット	11	11	8	乱用	17	21
9	通信販売	23	27	9	きちんと	9	9
10	店頭	30	37	10	テレビ電話	28	42
11	店	20	23	11	危険性	15	19
12	選択肢	10	10	12	健康被害	15	19
13	第二类医薬品	10	10	13	受診	15	19
14	販売店	10	10	14	患者	23	34
15	不便	21	25	15	専門家	23	34
16	ドラッグストア	23	28	16	使用	34	55
17	薬局薬店	9	9	17	使用方法	7	7
18	説明	47	64	18	副作用被害	7	7
19	注文	12	13	19	医薬品	103	200
20	薬品	17	20	20	安易	12	15

賛成・反対専門用語の有意性テスト

賛成意見に、「高齢化」「障害」あるいは「過疎」、さらには「漢方薬」「妊娠」など、具体的な事由を見ることができる。反対意見は、「副作用」「乱用」、あるいは「適正使用」など危険性(安全性)に関する意見が強くみられる。

賛成意見				反対意見			
順位	キーワード	分類頻度	全体頻度	順位	キーワード	分類頻度	全体頻度
1	薬局	82	110	1	副作用	56	79
2	説明	47	64	2	薬物	18	22
3	自分	31	41	3	乱用	17	21
4	記録	7	7	4	患者	23	34
5	生活	14	17	5	症状	24	37
6	選択	22	29	6	医薬品	103	200
7	漢方薬	16	20	7	薬物乱用	7	8
8	高齢化	6	6	8	分類	8	10
9	障害	6	6	9	自殺	5	6
10	妊娠	6	6	10	相互作用	5	6
11	薬剤	12	15	11	適正使用	5	6
12	医療用医薬品	5	5	12	確認	22	39
13	過疎	5	5	13			
14	強化	5	5	14			
15	厚生労働省	5	5	15			
16	定義	5	5	16			
17	保護	5	5	17			
18				18			
19				19			
20				20			

*1) 「医薬品ネット販売」について、Webフォームにて寄せられた意見「賛否理由のコメント」526件より（パブリックコメント：2010年11月～12月）

看護・介護の専門用語辞書の活用事例(2/2)

介護・福祉系専門誌のタイトル*2分析

掲載年別の高頻度キーワード

全体として「高齢者」「介護」「福祉」「認知症」のテーマであることはわかるが、年別の変化や特徴を知ることができない。

順位	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
1	介護	介護	介護	結果	結果	研究	研究	結果	研究	結果
2	調査	結果	研究	結果	介護	検討	結果	検討	結果	介護
3	結果	調査	高齢者	目的	高齢者	調査	介護	研究	介護	研究
4	目的	高齢者	研究	高齢者	検討	結果	調査	介護	目的	分析
5	研究	対象	福祉	調査	研究	分析	高齢者	目的	高齢者	検討
6	高齢者	研究	調査	介護	目的	目的	目的	高齢者	分析	目的
7	対象	分析	検討	調査	検討	高齢者	検討	分析	調査	調査
8	福祉	検討	目的	分析	分析	対象	分析	調査	検討	対象
9	意識	目的	分析	対象	対象	検討	対象	対象	対象	高齢者
10	関係	生活	生活	支援	生活	認知症	示唆	関連	施設	認知症

掲載年別キーワードの有意性テスト

年別のテーマの違いがわかる。「実習」から「痴呆」「認知症」、そして「介護」へテーマの変遷がみられる。

順位	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
1	看護婦	実習	痴呆性高齢者	痴呆	ホーム	認知症	社会参加活動	介護予防	客観的	経験
2	拡大	教材	痴呆性	痴呆性	エンパワメント	成長	発生要因	口腔ケア	複数	園芸
3	看護職	食材	積極的	痴呆性高齢者	老研式	認知症高齢者	想定	指標	養成校	不適切
4	努力	人間理解	痴呆	サポート	介護スタッフ	認知症	場所	筋力	養送	変更
5	希望	生活障害	ケアマネジャー	アルツハイマー型痴呆	自身	平成	トイレ	口腔	用具	命名
6	経験者	ホームヘルパー	家	居室	判定	勤務年数	暴力	予防	介護保険サービス利用者	認知症
7	拘束感	学生	再検討	科目間	問題解決	ケア内容	歴史的	不安	回答数	探索的
8	否定	演習	死亡者	介護実践力	老研式活動能力指標	介護福祉士資格	東京	共	好意的	開発
9	意識調査	講義	資格者	基礎資格	ケーススタディ	外来通院	背景	G P	高齢者ふれあい	前提
10	介護保険	教育方法	日常生活援助	具体化	ストレス内容	概念化	A特別養護老人ホーム	ベースライン期	主因子法	データベース

違いがよくわかる

掲載年別専門用語の有意性テスト

年別の専門性のテーマ、専門領域の10年間の変化が見とれられる。

順位	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
1	看護婦	実習	痴呆性高齢者	痴呆	エンパワメント	認知症	老人ホーム	介護予防	領域	認知症
2	希望	生活障害	痴呆	痴呆性高齢者	老研式活動能力指標	成長	回想	口腔ケア	撰取	データベース
3	否定	ホームヘルパー	ケアマネジャー	内の整合性	自分	認知症高齢者	症候群	口腔	検定	介護職員
4	意識調査	献立	老人福祉センター	適応	対処	手術	心身機能	予防	K J 法	移乗
5	介護保険	食事	医師	ソーシャル・サポート	コミュニティ	分散	成熟	不安	ホズ比	車いす
6	期待	アンケート調査	福祉	尺度	権限	性差	着脱	G P	シルバー人材センター	若年性認知症
7	高齢社会	比率	個人差	ケアプラン	相互作用	家族	虐待	下肢	リスクマネジメント	排泄介助
8	信頼性	関心	ホームヘルプサービス	自立支援	発散	方針	養護	虚弱高齢者	リハビリテーション	面接法
9	世帯	在宅介護	姿勢	介護者	予後	参与観察	高齢期	知的障害者	家政	確認
10	動機	福祉サービス	医療機関	家族介護者	コミュニケーション	退院	注意	施設実習	確率	判断

専門性をみる

*2) 「介護福祉学」「介護福祉教育学」「老年・社会学」等の看護・福祉系専門誌の2001年～2010年までの掲載論文(タイトル、サブタイトル、抄録、著者キーワード) 454件